



大城 保 議員

帯状疱疹について

帯状疱疹について、当局がどのように認識しているのか。

健康保険課長（新里 勝弘）

体の一部に痛みを伴う湿疹ができたり、発症すると、体の片側の神経痛のような痛みが起り、2割が後遺症である帯状疱疹後神経痛に移行すると言われています。

帯状疱疹は基本的に規則正しい生活習慣や適度な運動に加えて、予防接種が効果的だと言われています。帯状疱疹ワクチンの効果をごのよう認識しているのか。

健康保険課長（新里 勝弘）

ワクチン接種をすることで、免疫を強化することができ帯状疱疹にかかりにくくするほか、重症化を予防できる。

予防接種等による予防策を推進している自治体もある。ワクチン接種の周知・推進、村の考えを伺う。

健康保険課長（新里 勝弘）

副反応が強く出る人がいるとも聞いており、メリット、デメリットを理解した上で帯状疱疹に対する不安がある方は接種を検討してほしい。

帯状疱疹はワクチン接種で防ぐことの可能な病気だと言われています。高齢者が長く健康で活動的に過ごせる環境づくりにもつながる。帯状疱疹ワクチン接種費用の助成の考えはないのか。

健康保険課長（新里 勝弘）

令和5年8月現在、全国の273自治体で一部助成が実施されており、生ワクチン1回接種で1万円、不活化ワクチン2回接種で約5万円程度になっており、助成については、来年度から実施できないか検討していきたい。



定年延長について

地方公務員の定年も60から65歳まで段階的に引き上げられ管理職であった職員が新たな管理職の下で業務を担う、職場における上司関係が逆転する。働きやすい労働条件、環境づくりが必要だと思いますがどのように考えているか伺う。

総務課長（宮平 寛）

必要に応じて改善措置を講じ、これまで培った経験が十分発揮できるように職場環境にしていきたい。

職員の新規採用については退職者に応じて行っていると認識しています。定年が延びることによって、その定年該当者がいる場合、新規採用に影響が出てくるのか。

総務課長（宮平 寛）

これまでは退職者の有無で採用試験の実施と、採用を行ってきました。定年延長によって新規採用がなくなることがないように、平準化して職員採用をしていきたい。

会計年度任用職員について

募集職種の数、募集人数を伺う。

駐車場の件です。8月にコース、文化祭と舞台が続いてクレーラの故障で苦情もありました。修繕の計画があるか伺う。

商工観光課長（親泊 誠）

クレーラにつきまして老朽化により取替工事の検討はしています。物価高騰でかなり高額な見積もりが上がってきています。工法等、財源の確保も含めて検討を行っている段階です。早急な修繕に向けて取り組んでいくところです。

国道及び村道の除草作業、看板について

通学路の除草作業、小学校から恩納向けで、子供たちから区長さんに、草が生い茂って危ない。ウォーキングする方からも危ないという話があつて、恩納区と南恩納区で国道の除草作業をしています。教育委員会に、子供たちが危ないということ担当課にお願いしたいところがあるか伺う。

学校教育課長（仲村 泰弘）

年に一度、夏休み期間中、学校、教育委員会、警察、それぞれの道路管理者と共同で通学路の安全点検を行います。

総務課長（宮平 寛）

資格の有無を含めまして42職種、一般事務で44名、保健師、栄養士等専門事務の方が58名、保育士が29名、学校関係、幼小中で47名。

公募したものの該当者が見つからず未配備の職種はあるのか。

総務課長（宮平 寛）

社会福祉主事、社会福祉士、児童福祉士、保健師、管理栄養士、学力向上支援員、スクールソーシャルワーカー、幼稚園担当補助等13名が現在未配置となっております。

資格や免許を有する者は民間とも競合する職種であり、給与水準は民間のほうが高い。近隣市町村と比べ給与水準が低い職種があり改善すべきだと思いますが見解を伺う。

総務課長（宮平 寛）

処遇関係は、状況を確認しながら、随時見直しも行っていきます。

福祉と健康保険課は、村民と多く接する職場に勤務する会計年度任用職員です。特に資格や免許を有する職種は、民間・近隣市町村に劣らないような処遇改善をし、欠員が出ないよう、対策を早めていただきたいと思います。

村長に伺う。国道にフラワーロードという看板も立てられています。国道事務所ともいるいる調整もしたということですが、観光立村の恩納村としてそういう状況を見てどういうふうに感じるか、また今後どういうふうにしたいという思いがあれば伺う。

村長（長浜 善巳）

この街道はサンセット街道と位置づけをしており、観光客も通り多くの行楽客が通る道です。常日頃からいつも清潔にきれいに誰が見てもすばらしいと思える道にしていきたいと常々思っているところです。草の伸びるのが早いとか、手の行き届かないところもあります。これは地域の皆様と一緒にフラワーロードを含めて私たちが取り組んでまいりたいと思っておりますので、引き続き御協力をお願いいたします。



区民で行った通学路の除草作業

指定管理施設の整備状況及び利用状況について

商工会のホームページを見ると9月29日から指定管理施設空調の故障により利用停止と掲載されています。うんなまつりで幼稚園のお話大会、暑くて熱中症にかかりそうであったという苦情もいただいています。実施するに当たり場所の検討はなかったのか、整備状況はどうなっているか伺う。

商工観光課長（親泊 誠）

クレーラにつきましては老朽化により取替工事の検討はしています。会場の変更の話はこれまでありませんでした。

総務課長（宮平 寛）

修繕の発注はかけており、部品待ちの状況となっています。3月までには修繕を終える予定としています。

ゆうなホールのクレーラの整備と

提 村の行事だからクレーラは壊れるけどやるということも問題かと。今後検討していただきたい。

質 婦人の家の利用状況・利用している方々・建てられた目的を伺う。

農林水産課長（平安名 盛常）

令和5年は10月末現在で12件で74人となっております。婦人の家は農林漁家の婦人及び高齢者等が共同学習、自主的交流、情報交換等による資質の向上及び健康増進を図ることを目的とした施設として昭和58年度に整備されています。恩納村農山漁村生活研究会が地元特産品を活用した加工品開発や無添加みそづくり郷土料理研究を行ってきましたが、団体としての活動は減っています。

質 現在あまり使われていない状況とということですが今後どう利用していくのか、有効活用ができないか伺う。

農林水産課長（平安名 盛常）

老朽化も進んでおり安全面において不安な面もあります。今後何らかの対策が必要と考えます。各方面からの幅広い意見を聞いて婦人の家の今後の方向性を検討していきたいと考えています。